

笹山に竪穴式住居完成！

岡田 稔

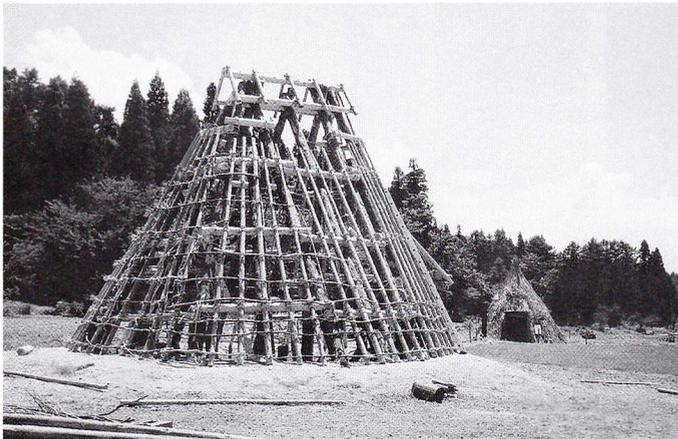
平成12年に国宝指定1周年を記念し、モニュメントの除幕式を皮切りに笹山じょうもん市が始まりました。7月には梅原猛氏による講演会「縄文文明の意味」が開催され、12月には計画策定委員会より十日町市に「国宝館・火焰の都計画」が答申されました。

平成13年になると火焰の都整備に関する事務が企画人事課に移管され、学芸員を中心に双方が多角的な面での活動を展開してきました。

平成15年3月には「国宝館・火焰の都整備事業基本設計説明書」が十日町市に納品されると、企画人事課より文化財課に事業が移り活動を継承していただきました。地元では平成17年、これまで活動を共にしてきた笹山遺跡保存活用委員会が解散し、事業が振興会に移行されました。中条地区では、笹山遺跡を熱



NPOによる笹山1号竪穴式住居



夏の猛暑の中、建設が続けられた

愛する仲間が笹山縄文探検団や縄文倶楽部を立ち上げました。

平成22年にはNPO笹山縄文の里から、竪穴式住居の作成依頼があり、縄文倶楽部の仲間や地域の方々や職人さんから指導いただき、炎天下の下、大汗をかきながら、中条の誇りとも言える竪穴式住居が完成しました。

国宝指定より11年目にして漸く笹山が世界の脚光を浴びられるように、地元が先頭に立って英知を発揮することを切望します。

ポンプ操法競技会に出場して！

第6分団1部3班 班長 峰岸 忠



旭町消防団の皆さん

今年、旭町消防団は、6月20日に行なわれた十日町方面隊のポンプ操法競技会に第6分団を代表して出場しました。本格的な練習は5月上旬から始めました。最初は選手も思うように動けませんでした。第6分団挙げての応援を得て練習を重ねるごとに技術や動作が上達していき、次第に熱気を帯び集中力も高まってきました。競技会当日、選手達は緊張感の中で練習の成果を発揮し、全力で気持ちのこもった競技をして第4位と好成績を上げ、さらに個人賞を取る選手(岩田学さん)もあり大健闘してくれました。全員で同じ目標に向かっていき団結力もさらに深まりました。今回の出場に際して多くの皆様にご支援とご協力を頂きましたことに心より感謝を申し上げます。

競技会などの訓練を通して消防団は、もしもの時に備えておりますが、中条地区の皆様には火災予防の心がけをもう一度確認をして頂きまして、火の用心を宜しくお願い致します。